



Michele Kruger
South Africa

巻頭言 各国の若手専門職からの挨拶

日本では地震とこれに伴う津波による大災害が起きました。被災された皆様のことを思い、すべての人々の幸運をお祈り致します。もう一つの私たちにとって気掛かりな問題は、リビアにおける対立ですが、その少しでも早い平和的な解決を願っています。両国には FIDIC の若手専門職フォーラム運営委員会のメンバーである日本の北野知行さん、リビアの Hisham S Ghellali がいます。私たちは両運営委員の困難を乗り越える幸運と力量を期待し、また再びそれぞれの国が繁栄することを祈っています。私たちはあなたの方のことをいつも思っています。多くの困難に立ち向かいながらもこのプログラムに継続参加していただいていることを、称賛いたします。あなた方の貢献はかけがえのないものです。

私たちはまた、今年の 10 月にスイスのダボスで開催される FIDIC 大会におけるきわめてエキサイティングな若手専門職の行事を計画中です。本会議のテーマは「能力開発」に関するものです。行事の詳細についてはウェブサイト ypf.fidic.ch/forum.com に掲載しています。また、会場や旅行に関する情報、会議のプログラムおよびソーシャルプログラムについては、大会のウェブサイトの www.fidic2011.org をご参照ください。多くの参加者を心よりお待ちしております。

FIDIC 専務理事 Enrico Vink からのメッセージ

皆様

ご存じの通り、北アフリカの不安定な情勢のため、FIDIC は 2011 年 3 月時点で、年次会議を開催予定だったハンマメットからの変更を余儀なくされた。この困難な任務は無事成功裏に執り行われ、チュニジアで行われる予定だったプログラムは、2011 年 10 月 2 日から 5 日の間、スイスのダボスで開催されることとなった。

FIDIC 会議への登録は現在、www.fidic2011.org で受け付けている。総合プログラムでは、コンサルティングエンジニアがビジネスにおいて成功するために必要な要因を議論してきた。2009 年のロンドン会議、2010 年のデリー会議を通して議論は成熟し、今年はスイス・アルプスを舞台に、この一連の議論の結論を得たいと考えている。つまりそれは、我々すべてに課されている革新的なソリューションを必要とするグローバルな挑戦や、我々が持ちうる素質を見つけ育てる必要性などである。ダボスにて、これらの課題に一緒に取り組みましょう。

ありがとう、Enrico さん！ 会議を楽しみにしています。

Michele Kruger
FIDIC YPF 運営委員会議長



Emrah Uliverdi
Turkey



Salih Burak Akat
Turkey

工学と建築の未来：トルコにおける事例

2009年にロンドンで開催されたFIDIC大会において、John Boyd FIDIC会長は工学と建築の重要性について、「エンジニアは人々の生活の改善において欠かすことのできない非常に重要な役割を担っている」と述べている。

この言葉についてよく考えてみれば、エンジニアや建築家が、生活を便利なものにし、清潔で安全な環境下での暮らしを支えるプロジェクトを実施しているという現実気づかされる。土木や建築等のプロジェクトひとつひとつは、生活の質的な向上における人類の日々のニーズ及び持続可能な解決策提供の恒常的なニーズにこたえるものである。

他方、工学分野や建築分野が現代社会にとって不可欠な部分であるにも関わらず、自らの進むべき職業分野として工学や建築の分野を選択し探求することへの興味と関心が昨今失われつつあるという問題については、国内外を問わず多くの場で議論されてきている。そしてこの問題に対する取り組みは同時にこの問題の解決策を内包している。この問題が、トルコの若手エンジニアや建築家で構成されるGEMプラットフォームにおいて、工学分野や建築分野への職業としての関心度を把握するため具体的かつ客観的な調査の形成を促している。GEMプラットフォームによる調査では、入学試験で高得点を取ったトルコ人の大学生約5000人をサンプルとして、彼らの学部課程の選択の傾向について分析が行われた。この入学試験は、学生たちが学部課程を選択するための予備的な試験であり、データは1989年から2009年にかけてこの入学試験の実施及び評価に関わる様々な機関から収集された。

収集されたデータから、以下のような興味深い結果が得られている。

試験の成績上位者4,655人を対象とした1989年のデータでは、この当時、工学部や建築学部の課程を選択した学生が60%おり、他分野の学部課程を選んだ学生は残りの40%であった。しかし、2009年のデータでは、工学部や建築学部の課程を選択した学生は5,000人中26%程度しかなく、71%の学生は他分野の学部課程を選択するという結果が得られている。2009年の調査でもっとも人気が高かったのは、医学部(68%)であった。

これらの傾向分析の調査結果から、トルコでは最近20年間、工学分野や建築分野を職業として選択することへの関心が急激に減少しているということが示された。この結果をきっかけとして、GEMプラットフォームがさらなる要因分析の調査を行うこととなった。

主な要因の一つとして、成績が上位の生徒たちが、現在、コンサルティング・エンジニアの分野で働く若手専門職たちが発信する考えに影響を受け、工学分野や建築分野以外の職業を優先して選択していると、GEMプラットフォームは結論付けている。

学生たちは若手専門職の考えや意見を貴重かつ重要なものとして考えている。なぜならば、学生たちは、この若手専門職たちが身近な人たちと認識するとともに、現在学生が面している将来の職業選択の経験と同じ状況を、彼らも経験しているということを知っているからである。上記の理由から、GEMプラットフォームが工学分野と建築分野の職業への関心が急激に減った要因を分析するためにコンサルティング・エンジニアとして働いている若手たちの意見に

注意を向けるようになった。

GEM プラットフォームは、同組織の会員およびコンサルティング・エンジニア業界で2~3年働いてきた若手専門職に対してアンケート調査を実施した。アンケートには、以下の4項目が記載されている。

1. あなたが仕事で直面している問題は何ですか？
2. 様々な問題のうち、あなたの勤める会社に解決して欲しい重要な問題は何ですか？また、それらの問題を解決するためのあなたの提案は何ですか？
3. 可能性がある解決策に対して、どうすれば GEM プラットフォームが貢献できると考えますか？
4. これらの問題に対して、ATCEA(トルコ コンサルティングエンジニア・建築士協会) はどのような貢献ができると考えますか？

若手専門職 (YP) は、アンケートに基づき、上級専門技術者と経営陣との間のコミュニケーションの不足が主要な問題点であることを示した。このコミュニケーションの不足は結果として技術継承の不足を招き、多くの若手専門職は、このことが彼ら自身の自己育成や熱意に繋がる深刻な問題であると考えている。またその中の多くは、一定の意思決定権は上級社員にのみ割り当てられるものと考えている。このことは、結果として若手専門職の努力やアイデアは軽視され、彼らがプロセスの決定に対し全く関与していないという認識を招く。また、給与問題についても指摘されている。殆どの若手専門職は、現在の給与補償は、彼らの仕事が極度の緊張の中、時間的にも拘束され、さらには社会生活にも影響を及ぼすものであるにもかかわらず、努力に比例しないものであると考えている。会社の堅固な組織的階層と技術的な基盤の不足は、若手専門職が業務を遂行する中で直面してきた別の深刻な問題である。

若手専門職によって、彼らの上司や経営陣とのネットワークづくりと意見交換の改善に焦点を当てた解決策が提案された。彼らは、効率的なネットワークづくりと意見交換を持続するために、効果的な管理体制やより柔軟な社内の組織体制、意思決定プロセスへの関与が重要であることを示した。また、彼らは、若手専門職の育成に対する配慮の不足が深刻な問題であることに懸念を示した。若手専門職は、情報の適切な蓄積や最新版ソフトウェアの使用、社内研修あるいは公認トレーニングプログラムへの参加の奨励を併せて提案した。また、より良いキャリアプランニング・サービスを会社で用意すべきであると提案し、彼らの職務満足と会社の将来の発展に、これらの改善が大きく貢献するものと考えられている。さらに、会社は、彼らの努力や会社への貢献に応じて、給料体系や作業負荷の問題を調節すべきであると指摘した。

若手専門職は、GEM プラットフォームをアイデアや考えを表現するための重要なプラットフォームと見ている。GEM プラットフォームは、堅い階層構造を抜きに、上級者や経営者とのつながりをもつための信頼できるプラットフォームを提供することに重点を置くことが期待されている。また、彼らは、専門技術や個人の発達のために、外国の若手技術者組織とのつながりを持つことができるというプラットフォームの重要性についても述べている。定期研修プログラムや社会活動も同様に GEM プラットフォームで期待されている。若手専門職は、ATCEA を GEM プラットフォームの重要な支援者であり、監督者であると考えており、将来の組織に対する継続的なサポートを期待している。彼らは、ATCEA が、FIDIC、EFCA やその他の若手専門職プログラムとの交流に



NEWSLETTER

YOUNG PROFESSIONALS FORUM
INTERNATIONAL FEDERATION OF CONSULTING ENGINEERS

よる強固なバックグラウンドを提供してくれることを期待している。また、彼らは、ATCEA に、ワークショップやプロジェクト、また、その他の活動を組織することにより、若手専門職と上級者や経営者とのつながりの構築を支援する活動的な役割を担うことを期待している。

研究結果は、過去 20 年間のトルコにおけるエンジニアリングや建築の劇的な減少を示しており、トルコのエンジニアリングと建築の将来に関する問題と取りあげている。GEM プラットフォームでは、この状態は他の国々でも重要な問題となっているものと確信している。FIDIC の強固で経験豊かな国際的なコンサルティングエンジニア団体は、全ての国々やアイデアや問題点を結合することができる。それにより、GEM プラットフォームにおいて、我々は、このコンサルティングエンジニアの将来に関する深刻な問題について、ほかの若手専門職組織から、文化の違いによって異なるアイデアや可能な解決策を聴取したい。



Nader Shokoufi
Iran

ISCE 若手専門職ニュース

イランの CE 若手専門職フォーラムは昨年の秋と冬にかけて非常に多忙であった。広範囲にわたる教育プログラムに伴い、3つの総会が開催された。

それら3つの総会はISCE YPFのために開催されたもので内容は以下の通りであった。

- YPMTP に関する総会では、3人のプログラム参加者が、そのプログラムについて詳細に説明し、より多くの若手専門職に次の2011年 YPMTP に参加するよう奨励した。
- ISCE YPF はバイオ燃料に関する会合を計画し、そこには ISCE や様々な大学からの専門家、NGO、環境運動家が出席した。4つの講演と非常に興味深い公開討論が行われた。
- イランのエンジニアの日(2月24日)を祝う会合では、3名の講演者を招き、社会におけるエンジニアリングの重要性とエンジニアの役割についての講義を受けた。社会の発展に向けてエンジニアリングが果たす貢献に関する映画も上映された。その式典はすばらしい演奏で閉幕した。



エンジニアの日を祝う会合

開発された教育プログラムは FIDIC 実務ガイドに基づいたものである。それは7つのセクションから構成され、各セクションは6つのセッションで構成されている。そして最初のセッションが45名の若手専門職と上級エンジニアで構成されるクラスに紹介された。そのセミナーは、FIDIC の若手専門職経営トレーニング・プログラム(YPMTP)卒業生の先導により行われた。

ISCE YPF は教育プログラムの継続を来年まで計画しており、現時点では2011年夏の総会までに少なくとももう2回のセミナーを計画している。

Nader Shokoufi
ISCE YPF 委員長



Julia Cheng
China

FIDIC エンジニア認証のパイロットプログラムが中国で始まる

国際コンサルティングエンジニア連盟（FIDIC）は、国際経験と成功事例に基づき、一連の資料とコンサルティング・エンジニアリング産業に関するガイドラインの開発に 100 年近くにわたり取り組んできた。これらの資料やガイドラインは、国際連合、世界銀行、アジア開発銀行、その他、国際機関や金融機関で広く認められ利用されてきた。

なかでも、FIDIC 契約約款は、国際コンサルティング・エンジニアリングやエンジニアリング契約管理の重要な基準となってきた。そして、FIDIC の品質管理システム、完全性管理システム、プロジェクト持続性マネジメントシステム、その他コンサルティング・エンジニアリング業界の基準は国際コンサルティング・エンジニアリング業界で広く採用されるようになった。

FIDIC 理事会での決定事項および中国政府の承認事項によれば、FIDIC 技術者認定のパイロットプログラムが中国で実施されようとしている。これらは、国際市場においてコンサルティング業界の事業を推進していくために行うものである。

FIDIC 技術者認定は、FIDIC の体系的な研修プログラムと、知識への理解度に対する評価を得た、ベストプラクティスの技術者であることを FIDIC 本部が裏付けるものである。

FIDIC と CNAEC(China National Association of Engineering Consultants)は、名簿を通じて FIDIC エンジニアリング許可書を取得した方々を把握するとともに、さらには世界銀行、アジア開発銀行、アフリカ開発銀行、その他、国際機関から国際コンサルティング・エンジニアリングプロジェクトマネージャーとして容認されるよう働きかけていくであろう。



Tshireletso
South Africa

コンサルティングエンジニア南アフリカ - 若手専門職フォーラムの最新情報

我々の設立した若手専門職フォーラム(YPF)南アフリカは段々と組織力を高め、現在は全国で7つの支社が活動中である。

各支社において、YPF 南アフリカは、同僚やベテラン専門職を支持したりネットワークを構築したりすることで、工学技術や建設環境業に対する認識を深め、組織力の向上を図るとともに、ボランティア活動を通じてコミュニティに還元もしている

コンストラクションウィークにおける初期の試み

コンサルティングエンジニア南アフリカ(CESA) YPF は、2011年2月21日から25日に Sci-bono 科学センターで開催されたコンストラクション展覧会に出展した。展覧会に参加していた48の学校やFET大学から4000人以上の学習者たちが観覧に訪れ、盛況であった。ボランティアをしてくれた人、Mzansiの将来の技術者や指導者と経験を分かち合うことに努めてくれた人等の全ての若手専門職に感謝している。

Auriel Petersen(GOBA);Ajeshni Singh(GIBB); Kieren Brown(MPA); Linda Siboza; Tshireletso Rammutla(BKS); and Qaqambile Ngumbela

Gautrain Hatfield 駅の現場視察 2011年2月9~10日 - GP North

YPF-GP Northはその年に戸外活動を始めた。20名の若手専門職が、先述したGautrain Hatfield Station ツアーに2日以上参加する機会を得た。ここでは、全ての住民団体を収容する計画に用いられた最新技術についての見識が得られた。ツアーを企画し先導して下さった、Mr. Larry Pringle and Mr. George Celliers of the Gautrain Provincial Support Team(BKS) に感謝する。



(Picture Credit: Antoinette Mmekwa - GOBA)

ウォルター・シスル大学(ボーダー・ケイ)でのエンジニアリング座談会

2011年3月2日、ウォルター・シスル大学のイースト・ロンドン・キャンパスにおいて、ボーダー・ケイ支局主催による、学生向けのエンジニアリング座談会が開催された。座談会では、SSIに所属し、若手専門職フォーラムのボーダー・ケイ支局で会計を担当している Bulelwa Leni 氏が司会を務めた。S3、S4の学生

が20名以上参加し、座談会は盛況だった。学生たちは、自らの理論モジュールを完成させるために実務訓練を必要としているが、その機会に恵まれていないという問題に直面している。若手専門職たちは、実務訓練への申し込みを続けるよう、学生たちにアドバイスした。ポーター・ケイ支局の若手専門職たちは、学生たちのCV作成を補助するボランティアを実施する予定である。

コンサルティング企業における金銭の流れ（ウェスタン・ケープ）

コンサルティング企業における金銭の流れについて、若手専門職フォーラムのウェスタン・ケープ支局がワークショップを開催した。ワークショップでは、どのように仕事を得るか、どのように仕事に対する支払いを受けるか、職員の給与が取得法の影響をどのように受けるか、キャリアアップやキャリアの正当な評価をどのように得られるか、といった点に焦点が当てられた。



Michele Kruger

FIDIC YPF を広げましょう！

皆さんもこの若いダイナミックなグループの一員になって、最新版のニュースレター、イベント（例えば FIDIC 会議とトレーニング機会）に関する情報を入手しませんか。

私達 FIDICYPF グループはあなたの国の YPs が何をしているか、そして、彼らとどのように関わっているかを調べています。下記のアドレスから YPF ホームページにアクセスして情報をお寄せください。

登録頂いた方には、ニュースレターやインフォメーションを送付いたします。あなたの情報の更新もお忘れなく。

私達と FIDIC に関する情報はこちらから。

<http://www1.fidic.org/resources/young/default.asp>

更に詳しい情報が必要な方や私と直接コンタクトを取りたい方は、下記のアドレスへ直接ご連絡ください。

fidicyforum@gmail.com

Michele Kruger
FIDIC YPF 運営委員会 議長
コミュニケーション担当責任者

あなたの国でも YPF を作りましょう。

FIDIC YPF と各国の YPFs の活動が気に入ったら、今度はあなたの国の番です。あなたの国の FIDIC 会員協会(MA)を通して、YPF を組織するのが最もよい方法です。しかし、そのような協会が存在しない、あるいは、あなたの国の MA が YPF を持ちたくないならば、あなた自身で YPF を始める方法を一緒に考えるために、我々に連絡を下さい。FIDIC を通して、我々はあなたの国で YPF を組織するために協力します。あなたに必要なのはエンジニアリングに対する熱意だけです！ その熱意からあなた自身であなたの YPF が何を代表するのかを決めてゆきます。何にフォーカスをおきましょう？それは若手エンジニアのトレーニングでしょうか？若い世代がエンジニアリングに興味を持つようにすることでしょうか？それとも仕事仲間を集めた社交界のようなもの？または、これら全てですか？

FIDIC YPF として、我々はあなたの新しい努力を支援するためにできるだけのことをします！

連絡は：fidicyforum@gmail.com



NEWSLETTER

YOUNG PROFESSIONALS FORUM
INTERNATIONAL FEDERATION OF CONSULTING ENGINEERS

FIDIC YPF News Letter 2011 年 5 月号

下記の方々に翻訳を協力いただきました。
ご多忙の中大変ありがとうございました。

(順不同・敬称略)

矢神 卓也	(株)建設技術研究所
甲斐 慎一郎	(株)建設技術研究所
花原 英徳	(株)建設技術研究所
笠瀬 明日香	(株)建設技術研究所
高樋 直人	(株)日水コン
赤坂 和俊	(株)日水コン
門司 崇宏	(株)オリエンタルコンサルタンツ
手塚 誠	(株)長大
長谷川 正	(株)長大
澤部 純浩	(株)長大
三好 孝明	(株)長大
中島 隆志	(株)建設技研インターナショナル
大田 孝	基礎地盤コンサルタンツ(株)
長田 太宗	(株)森村設計
北野 知行	日本工営(株)

取りまとめ
AJCE 技術研修委員会 YP 分科会
担当 北野 知行
日本工営(株)